令和5年度会務報告

全国都道府県議会議長会

会 議 及 び 運 動 等

No.	年月日	会議の名称及び内容
1	令和5.4.21	第5回都道府県議会デジタル化推進本部・第22回専門委員会合同会議 オンラインで開催した。 会議では、河村和徳専門委員会座長（東北大学大学院情報科学研究科准教授）が、同委員会が取りまとめた2件の報告書（「デジタル社会における地方議会と住民との関係の再構築に向けて」及び「議会に係る手続等のデジタル化について」）を小西隆紀推進本部長（兵庫県議会議長）に提出し、事務局から報告書の内容について説明した。 次に、両報告書を踏まえ、議会のデジタル化を更に進めていく上で課題となっていること、今後取り組むべきこと等について、推進本部員と専門委員との間で意見交換を行った。 <都道府県議会デジタル化推進本部名簿> 本部長 小西 隆紀 副会長（兵庫県議会議長） 副本部長 中屋敷 慎一 地方自治委員会委員長（埼玉県議会議長） 本部員 渡辺 義信 福島県議会議長 前野 和美 三重県議会議長 溝口 幸治 熊本県議会議長 専門員 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 <都道府県議会デジタル化専門委員会名簿> 座長 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 委員 庄司 昌彦 武蔵大学社会学部メディア社会学科教授 谷口 尚子 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 廣川 聡美 関東学院大学法学部客員教授 湯浅 壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授
2	5.4.27	都道府県議会デジタル化専門委員会座長記者会見を開催 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会見では、河村和徳座長（東北大学大学院情報科学研究科准教授）から、地方議会のデジタル化やオンライ

No.	年月日	会議の名称及び内容
		ン委員会の必要性について説明した上で、同専門委員会がこれまでに取りまとめた4件の報告書について説明を行い、その後、記者との質疑応答を行った。
3	5.4.30	石井邦一茨城県議会議長が会長職務代理者に就任 柴田正敏会長（秋田県議会議長）が4月29日（土）の議員任期満了に伴い、会長職を退任したことから、新会長が選任されるまで、石井邦一茨城県議会議長が会長職務代理者となった。
4	5.5.11	各都道府県議会議長、令和5年春の園遊会に参列 東京・赤坂御苑において、天皇皇后両陛下主催による園遊会が催され、本会からは、議長6名が参列した。なお、園遊会には、岸田文雄内閣総理大臣、地方公共団体代表、各界の功績者など約1,000名が参列した。
5	5.5.31	石井会長職務代理者、「国と地方の協議の場（令和5年度第1回）」に出席 東京・総理大臣官邸において、「国と地方の協議の場（令和5年度第1回）」が開催され、石井邦一会長職務代理者（茨城県議会議長）をはじめ、地方六団体の各代表が出席した。 会議においては、「骨太の方針の策定等」及び「こども・子育て政策」について、関係閣僚と協議した。 冒頭、岸田文雄内閣総理大臣から「議長会の皆様から御提案いただいております、地方議会の位置づけ等の明確化については、先月、改正地方自治法が成立いたしました。今後、地方議会の活性化策が各地域で展開されることを期待しております。」などの発言があった。 また、石井会長職務代理者から、①岸田総理から冒頭に御発言のあった地方自治法改正法案成立への御礼、②東京圏一極集中の是正、③少子化対策の抜本的強化（少子化対策に係る経済的支援の全国一律での実施など）、④人材不足への対応（リスクリングの推進及び生産性向上に係る中小企業への支援の強化など）について発言した。 <政府出席者> 岸田 文雄 内閣総理大臣 松野 博一 内閣官房長官

No.	年月日	会議の名称及び内容
		松本 剛明 総務大臣 岡田 直樹 内閣府特命担当大臣（地方創生） 兼 デジタル田園都市国家構想担当大臣 井上 貴博 財務副大臣 永岡 桂子 文部科学大臣 加藤 勝信 厚生労働大臣 小倉 将信 内閣府特命担当大臣（少子化対策） 兼 こども政策担当大臣 後藤 茂之 内閣府特命担当大臣（経済財政政策） 兼 全世代型社会保障改革担当大臣 大串 正樹 デジタル副大臣
6	5.6.7	石井会長職務代理者、デジタル田園都市国家構想及び地方創生に関する地方六団体との意見交換会に出席 東京・中央合同庁舎8号館において、「デジタル田園都市国家構想及び地方創生に関する地方六団体との意見交換会」が開催され、石井邦一会長職務代理者（茨城県議会議長）をはじめ、地方六団体の各代表が出席した。 会合においては、内閣官房から、当面の重要課題について説明の後、意見交換が行われた。 石井会長職務代理者から、①林業をはじめとする第一次産業のデジタル化への支援、②デジタル技術を活用した地域の課題解決を図るための情報通信基盤の整備促進、③東京一極集中の是正を図るためのテレワークの活用推進、企業の地方移転への支援強化等について要請した。 <政府出席者> 岡田 直樹 デジタル田園都市国家構想担当大臣 兼 内閣府特命担当大臣（地方創生） 尾崎 正直 デジタル大臣政務官 自見 はなこ 内閣府大臣政務官

No.	年月日	会議の名称及び内容																														
7	5.6.15	地方六団体、北朝鮮のミサイル発射に対する抗議声明を発表 地方六団体は、北朝鮮によるミサイル発射に対する抗議声明を発表した。																														
8	5.6.20	臨時総会 東京・都道府県会館において開催した。 総会では、はじめに石井邦一会長職務代理者（茨城県議会議長）があいさつを述べた。 議事では、まず、会長、副会長について、事前に開催した役員選考委員会の選考の経過と結果について瀧上陽一委員長（熊本県議会議長）から報告して諮り、山本徹会長（富山県議会議長）と8名の副会長を選任した。その後、山本新会長が、就任あいさつを行った。 次に、理事、監事、各委員会の正副委員長について、各ブロック又は組合せブロックにおいて互選した結果を事務局から報告して諮り、決定した。 以上で総会の議事が終了し、その後、今年4月に成立した地方議会に関する地方自治法の一部改正等について、事務局から報告し、閉会した。 全国都道府県議会議長会役員（敬称略） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>富山県議会議長</td> <td>山本 徹</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>北海道議会議長</td> <td>富原 亮</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>青森県議会議長</td> <td>丸井 裕</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>新潟県議会議長</td> <td>楡井 辰雄</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>三重県議会議長</td> <td>中森 博文</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>滋賀県議会議長</td> <td>奥村 芳正</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>岡山県議会議長</td> <td>小倉 弘行</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>徳島県議会議長</td> <td>岡田 理絵</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>佐賀県議会議長</td> <td>大場 芳博</td> </tr> <tr> <td>理事</td> <td>福島県議会議長</td> <td>渡辺 義信</td> </tr> </tbody> </table>	会長	富山県議会議長	山本 徹	副会長	北海道議会議長	富原 亮	副会長	青森県議会議長	丸井 裕	副会長	新潟県議会議長	楡井 辰雄	副会長	三重県議会議長	中森 博文	副会長	滋賀県議会議長	奥村 芳正	副会長	岡山県議会議長	小倉 弘行	副会長	徳島県議会議長	岡田 理絵	副会長	佐賀県議会議長	大場 芳博	理事	福島県議会議長	渡辺 義信
会長	富山県議会議長	山本 徹																														
副会長	北海道議会議長	富原 亮																														
副会長	青森県議会議長	丸井 裕																														
副会長	新潟県議会議長	楡井 辰雄																														
副会長	三重県議会議長	中森 博文																														
副会長	滋賀県議会議長	奥村 芳正																														
副会長	岡山県議会議長	小倉 弘行																														
副会長	徳島県議会議長	岡田 理絵																														
副会長	佐賀県議会議長	大場 芳博																														
理事	福島県議会議長	渡辺 義信																														

No.	年月日	会議の名称及び内容			
		理事	山梨県議会議長	水 岸 富美男	
		理事	愛知県議会議長	石 井 芳 樹	
		理事	大阪府議会議長	久 谷 眞 敬	
		理事	鳥取県議会議長	浜 崎 晋 一	
		理事	香川県議会議長	新 田 耕 造	
		理事	鹿児島県議会議長	松 里 保 廣	
		監事	埼玉県議会議長	立 石 泰 広	
		監事	奈良県議会議長	岩 田 国 夫	
		監事	愛媛県議会議長	高 山 康 人	
全国都道府県議会議長会各委員会正副委員長（敬称略）					
		地方自治委員会	委員長	茨城県議会議長	石 井 邦 一
			副委員長	岩手県議会議長	五 日 市 王
			副委員長	和歌山県議会議長	濱 口 太 史
			副委員長	高知県議会議長	弘 田 兼 一
		社会文教委員会	委員長	京都府議会議長	石 田 宗 久
			副委員長	千葉県議会議長	伊 藤 昌 弘
			副委員長	福岡県議会議長	香 原 勝 司
		経済産業環境委員会	委員長	広島県議会議長	中 本 隆 志
			副委員長	山形県議会議長	森 田 廣
			副委員長	福井県議会議長	西 本 正 俊
		国土交通委員会	委員長	宮崎県議会議長	濱 砂 守
			副委員長	栃木県議会議長	佐 藤 良
			副委員長	兵庫県議会議長	内 藤 兵 衛

No.	年月日	会議の名称及び内容			
			副委員長	山口県議会議長	柳居 俊学
		農林水産委員会	委員長	宮城県議会議長	菊地 恵一
			副委員長	岐阜県議会議長	野島 征夫
			副委員長	島根県議会議長	園山 繁
			副委員長	沖縄県議会議長	赤嶺 昇
9	5.6.20	山本会長、就任記者会見を実施 東京・都道府県会館において、臨時総会で新たに選任された山本徹会長（富山県議会議長）が記者会見を実施し、地方議会の課題に対する思いや今後の取組について発言した。			
10	5.6.23	山本会長、令和5年沖縄全戦没者追悼式に参列 沖縄・平和祈念公園において、沖縄県及び沖縄県議会主催による令和5年沖縄全戦没者追悼式が執り行われ、本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）が参列し、献花を行った。 なお、追悼式には、戦没者遺族、玉城デニー沖縄県知事、赤嶺昇沖縄県議会議長をはじめとする県及び県議会関係者のほか、岸田文雄内閣総理大臣、衆参両院の議長など約4,000名が参列した。			
11	5.7.6	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、まず、7月18日（火）に開催する創立100周年記念式典の日程及び宣言案について協議した。 次に、同日に開催する第175回定例総会の日程、提出議案等について協議した。 また、令和4年度会計監査報告を、岩田国夫監事（奈良県議会議長）が監事を代表して報告した。			
12	5.7.11	各委員会 東京・都道府県会館において、5つの委員会を開催し、関係府省から説明を聴くとともに、「令和6年度政			

No.	年月日	会議の名称及び内容
		府予算編成及び施策に関する提言案」を審査した。 地方自治委員会 ＜説明内容＞ 地方行政の課題について ＜説明者＞ 三橋 一彦 総務省大臣官房審議官 ＜提言案項目＞ 「地方創生の推進について」等16項目 社会文教委員会 ＜説明内容＞ こども家庭庁の取り組みとこども政策の概要について ＜説明者＞ 浅野 敦行 こども家庭庁長官官房審議官 ＜提言案項目＞ 「少子化対策・子育て支援の抜本的強化について」等8項目 経済産業環境委員会 ＜説明内容＞ 「GX実現に向けた基本方針」によるエネルギー政策について ＜説明者＞ 赤松 徹也 資源エネルギー庁省エネルギー新エネルギー部政策課課長補佐 ＜提言案項目＞ 「地域経済の持続的な成長の実現について」等5項目 国土交通委員会 ＜説明内容＞ 今後の地域公共交通のあり方について ＜説明者＞ 石原 大 国土交通省大臣官房公共交通・物流政策審議官 ＜提言案項目＞ 「観光の更なる活性化の推進について」等7項目 農林水産委員会 ＜説明内容＞ 食料・農業・農村基本法の見直し等について ＜説明者＞ 杉中 淳 農林水産省大臣官房総括審議官 ＜提言案項目＞ 「食料安全保障の強化について」等5項目

No.	年月日	会議の名称及び内容
13	5.7.18	創立100周年記念式典 東京・イイノホールにおいて挙行了た。 式典に先立ち、東京消防庁音楽隊がミニコンサートを行った。 その後、開式し、同音楽隊による国歌演奏ののち、山本徹会長（富山県議会議長）が式辞を述べた。 次に、岸田文雄内閣総理大臣の祝辞を栗生俊一内閣官房副長官が代読、細田博之衆議院議長、尾辻秀久参議院議長、松本剛明総務大臣が祝辞を述べ、平井伸治全国知事会会長の祝辞を中島正信全国知事会事務総長が代読した。 また、平成5年1月27日（水）の創立70周年記念式典以降の歴代会長を紹介し、全国市議会議長会会長、全国町村議会議長会会長の祝電を披露した。 その後、本会に多大な貢献のあった方への感謝状贈呈に移り、第3次都道府県議会制度研究会座長の大森彌東京大学名誉教授、第4次都道府県議会制度研究会座長の中邨章明治大学名誉教授に感謝状を贈呈した。出席の叶わなかった大森名誉教授のメッセージを事務局が読み上げ、中邨名誉教授からごあいさつをいただいた。 最後に、新たな100年に向けて、真の地方自治の実現と更なる都道府県議会の活性化を目指す決意を示す100周年宣言を採択し、閉式した。 式典終了後、記念講演として、宍戸常寿東京大学大学院法学政治学研究科教授から、「地方議会の位置付け等を明文化する地方自治法改正の意義とデジタル化が進む中での議会のあり方」と題して、谷口尚子慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授から、「日本の地方議会：多様性と応答性による進化を目指して」と題して、御講演いただいた。
14	5.7.18	第175回定例総会 東京・イイノホールにおいて開催した。 総会では、はじめに山本徹会長（富山県議会議長）があいさつを述べた。 議事では、まず、令和4年度決算について、事務局が令和4年度会務及び会計報告の説明、岩田国夫監事（奈良県議会議長）が会計監査報告を行った後、認定した。 また、役員会提出の「少子化対策の抜本的強化に関する決議」、「地域経済の持続的な成長の実現に関する

No.	年月日	会議の名称及び内容
		決議」、「デジタル化と地方創生の推進に関する決議」、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備に関する決議」、「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」を決定するとともに、各委員会の委員長報告の後、「令和6年度政府予算編成及び施策に関する提言」を決定した。 以上で議事が終了し、次期定例総会（10月26日）の開催地である香川県議会の新田耕造議長が歓迎のあいさつを述べ、閉会した。
15	5.7.19	役員会及び各委員会、令和6年度政府予算編成及び施策に関する決議・提言に係る要請活動を実施 役員会 <要請内容> ・ 少子化対策の抜本的強化 ・ 地域経済の持続的な成長の実現 ・ デジタル化と地方創生の推進 ・ 地方税財源の充実確保 ・ 地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備 ・ 東京電力福島第一原子力発電所事故対策 <要請先>（順不同） ・ 自由民主党 - 萩生田 光一 政務調査会長 - 森山 裕 選挙対策委員長 - 林 幹雄 地方創生実行統合本部長 - 石田 真敏 総務部会「地方議会の課題に関するPT」座長 ・ 公明党 - 山口 那津男 代表 - 新妻 秀規 参議院議員

No.	年月日	会議の名称及び内容
		平木 大作 参議院議員 竹内 真二 参議院議員 谷合 正明 参議院議員 日下 正喜 衆議院議員 山崎 正恭 衆議院議員 山本 博司 参議院議員 吉田 久美子 衆議院議員 佐藤 英道 衆議院議員 平林 晃 衆議院議員 <参加者> 山本 徹 会長（富山県議会議長） 富原 亮 副会長（北海道議会議長） 楡井 辰雄 副会長（新潟県議会議長） 中森 博文 副会長（三重県議会議長） 奥村 芳正 副会長（滋賀県議会議長） 小倉 弘行 副会長（岡山県議会議長） 岡田 理絵 副会長（徳島県議会議長） 大場 芳博 副会長（佐賀県議会議長） 地方自治委員会 <要請内容> 地方税財源の充実強化、多様な人材が議会に参画するための環境整備 等 <要請先>（順不同） ・総務省 尾身 朝子 総務副大臣

No.	年月日	会議の名称及び内容
		・自由民主党 - 佐藤 信秋 地方行政調査会長 - 堂故 茂 総務部会長代理 ＜参加者＞ - 石井 邦一 委員長（茨城県議会議長） - 五日市 王 副委員長（岩手県議会議長） - 濱口 太史 副委員長（和歌山県議会議長） - 今城 誠司 高知県議会副議長 - 社会文教委員会 ＜要請内容＞ - 少子化対策・子育て支援の抜本的強化、地域医療提供体制の強化、教育の機会均等と水準の維持向上に向けた取組、主権者教育の推進 等 ＜要請先＞（順不同） ・内閣府 - 小倉 将信 こども政策担当大臣 ・文部科学省 - 築 和生 文部科学副大臣 ・厚生労働省 - 伊佐 進一 厚生労働副大臣 ・自由民主党 - 中村 裕之 文部科学部会長 - 田畑 裕明 厚生労働部会長 ＜参加者＞ - 石田 宗久 委員長（京都府議会議長）

No.	年月日	会議の名称及び内容
		伊藤 昌弘 副委員長（千葉県議会議長） 香原 勝司 副委員長（福岡県議会議長） 経済産業環境委員会 <要請内容> 物価高騰対策の推進、「人への投資」の充実、プラスチックごみの排出抑制、鳥獣被害防止対策の推進 等 <要請先>（順不同） ・環境省 小林 茂樹 環境副大臣 ・経済産業省 里見 隆治 経済産業大臣政務官 ・自由民主党 岩田 和親 経済産業部会長 <参加者> 中本 隆志 委員長（広島県議会議長） 森田 廣 副委員長（山形県議会議長） 西本 正俊 副委員長（福井県議会議長） 国土交通委員会 <要請内容> 防災・減災対策、国土強靱化の充実強化、観光の更なる活性化の推進、鉄道の整備促進及び地域鉄道の確保・維持 等 <要請先>（順不同） ・内閣官房 谷 公一 国土強靱化担当大臣

No.	年月日	会議の名称及び内容
		・参議院 足立 敏之 災害対策特別委員会理事 ・自由民主党 菅家 一郎 国土交通部会長代理 ＜参加者＞ - 濱砂 守 委員長（宮崎県議会議長） - 佐藤 良 副委員長（栃木県議会議長） 農林水産委員会 ＜要請内容＞ 食料安全保障の強化、森林吸収源対策及び林業・木材産業の成長発展に向けての取組、水産資源の安定的な確保及び漁業経営の強化 等 ＜要請先＞（順不同） ・自由民主党 石破 茂 水産総合調査会長 武部 新 農林部会長 ・農林水産省 横山 紳 農林水産事務次官 ＜参加者＞ - 菊地 恵一 委員長（宮城県議会議長） - 園山 繁 副委員長（島根県議会議長） - 照屋 守之 沖縄県議会副議長
16	5.7.20	内閣総理大臣主催による都道府県議会議長との懇談会に出席 東京・総理大臣官邸において、岸田文雄内閣総理大臣主催による都道府県議会議長との懇談会が開催された。

No.	年月日	会議の名称及び内容
		本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）をはじめ正副議長44名が出席し、岸田内閣総理大臣、松本剛明総務大臣、松野博一内閣官房長官などと意見交換を行った。 冒頭、岸田内閣総理大臣から、5月31日（水）の国と地方の協議の場と同様、地方議会の位置付け等の明確化を内容とする改正地方自治法が成立したことを受け、今後、地方議会の活性化策が各地域で展開されることと期待している旨の発言があった。 続いて、山本会長から、各議会が議会の審議や議会活動の更なる改革に努め、活発な政策議論や政策立案の取組などを住民の方々に御理解いただけるよう取り組んでいく旨発言した。 また、各ブロックを代表して7名の議長が発言した。 <発言議長・テーマ> ・北海道東北ブロック 丸井 裕 青森県議会議長「新幹線鉄道の整備促進等及び地方鉄道路線の維持について」 ・関東ブロック 楡井 辰雄 新潟県議会議長「全ての拉致被害者の即時一括帰国を求めることについて」 ・東海北陸ブロック 中森 博文 三重県議会議長「防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進について」 ・近畿ブロック 久谷 眞敬 大阪府議会議長「大阪・関西万博の成功に向けた全国の機運醸成等について」 ・中国ブロック 浜崎 晋一 鳥取県議会議長「参議院議員選挙における合区の速やかな解消について」 ・四国ブロック 岡田 理絵 徳島県議会議長「ポストコロナに向けたにぎわい創出について」 ・九州ブロック 松里 保廣 鹿児島県議会議長「豪雨災害と離島振興対策の拡充について」

No.	年月日	会議の名称及び内容
17	5.8.8	新任議員研修会 東京・砂防会館別館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 本研修会は、新たに議員となった者を中心として、地方議会の基礎的な制度と運営について学ぶとともに、地方行財政を取り巻く諸課題など議員の職務遂行に必要な共通知識を深めるために開催したものであり、以下の講演を聴取した。 <講演> (1) 「議会運営の基本」 講師 内田 一夫 元全国都道府県議会議長会事務局次長 (2) 「地方議会をめぐる現状と課題について」 講師 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 (3) 「地方行財政について」 講師 小西 砂千夫 総務省地方財政審議会会長
18	5.8.15	山本会長、全国戦没者追悼式に参列 東京・日本武道館において、政府主催による全国戦没者追悼式が執り行われ、本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）が参列した。 なお、追悼式には、天皇皇后両陛下御臨席の下、岸田文雄内閣総理大臣、衆参両院の議員、戦没者遺族など約1,900名が参列した。
19	5.8.24	地方六団体、北朝鮮のミサイル発射に対する抗議文を発表 地方六団体は、北朝鮮によるミサイル発射に対する抗議文を発表した。
20	5.8.24	山本会長、自由民主党総務部会関係合同会議に出席 東京・自由民主党本部において、自由民主党総務部会関係合同会議が開催され、山本徹会長（富山県議会議長）をはじめ、地方六団体の各代表が出席した。

No.	年月日	会議の名称及び内容
		本会からは、「第175回定例総会議決事項」を提出するとともに、地方六団体からは、「自由民主党総務部会関係合同会議 主要要望項目」を提出し、代表して平井伸治全国知事会会長（鳥取県知事）より、地方一般財源総額の確保・充実、物価高騰対策、防災・減災対策の推進と強靱な国土づくり、デジタル田園都市国家構想総合戦略で掲げた目標達成に向けた地方移住の促進、こども・子育て政策の強化、マイナンバー総点検に係る地方財源の確保等について要望した。
21	5.9.27	山本会長、第33次地方制度調査会第19回専門小委員会に出席 東京・全国都市会館において、第33次地方制度調査会第19回専門小委員会（委員長：山本隆司東京大学教授）が開催され、「社会全体におけるデジタル・トランスフォーメーションの進展及び新型コロナウイルス感染症対応で直面した課題等を踏まえ、ポストコロナの経済社会に的確に対応する観点から必要となる地方制度のあり方」に関して、地方六団体の意見聴取が行われた。 本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席し、資料（地方自治法改正を踏まえた取組について）と本会創立100周年記念小冊子を提出するとともに、主権者教育の推進、議会のデジタル化の推進について発言した。また、同委員会で取りまとめが進められている論点であるDXの進展を踏まえた対応、自治会等の地域コミュニティ活動の持続可能性向上、非平時における国への限定的な指示権の付与についてそれぞれ発言した。
22	5.10.16	令和5年度都道府県議会議員及び市町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式 東京・ホテルルポール麹町において、総務省主催による令和5年度都道府県議会議員及び市町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式が挙行され、山本徹会長（富山県議会議長）が来賓として出席した。 地方議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に功労があった者に対し、総務大臣から感謝状が贈呈されるもので、令和5年度は71名（うち都道府県議会議員関係2名）に贈呈が行われた。 式典では、鈴木淳司総務大臣が式辞を述べた後、鈴木大臣から、都道府県議会議員、市議会議員及び町村議会議員の代表者に感謝状と記念品が授与された。 なお、被贈呈者を代表して、宇治田栄藏元和歌山県議会議員が謝辞を述べた。

No.	年月日	会議の名称及び内容
23	5.10.17	各委員会 東京・都道府県会館において、5つの委員会を開催し、関係府省から説明を聴くとともに、「令和6年度政府予算編成に関する提言案」を審査した。 地方自治委員会 <説明内容> 総務省の重点施策（2024）について <説明者> 海老原 諭 総務省大臣官房総括審議官 <提言案項目> 「地方創生の推進について」等16項目 社会文教委員会 <説明内容> 認知症施策の総合的な推進について <説明者> 尾崎 美弥子 厚生労働省老健局認知症総合戦略企画官 <提言案項目> 「少子化対策・子育て支援の抜本的強化について」等8項目 経済産業環境委員会 <説明内容> 燃料油価格や電気・ガス料金の高騰に伴う施策について <説明者> 植松 健 資源エネルギー庁電力・ガス事業部政策課企画官 日置 純子 資源エネルギー庁資源・燃料部燃料供給基盤整備課燃料流通政策室長 <提言案項目> 「地域経済の持続的な成長の実現について」等5項目 国土交通委員会 <説明内容> 流域治水の取組について <説明者> 廣瀬 昌由 国土交通省水管理・国土保全局長 <提言案項目> 「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化について」等7項目

No.	年月日	会議の名称及び内容
		農林水産委員会 <説明内容> 食料・農業・農村政策審議会の答申について <説明者> 杉中 淳 農林水産省大臣官房総括審議官 <提言案項目> 「食料安全保障の強化について」等5項目
24	5.10.17	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、10月26日（木）に開催する第176回定例総会の開催地である香川県の新田耕造理事（香川県議会議長）が歓迎のあいさつを述べた。 続いて、自治功労者の表彰、第176回定例総会の提出議案、標準会議規則等の改正案等について協議した。 自治功労者の表彰については、各都道府県議会から推薦された議員71名を本会表彰内規に基づき、10月26日付けで永年勤続功労者として表彰することを決定した。 また、第33次地方制度調査会における議論の動向や、地方自治法改正を踏まえた主権者教育等について報告した。
25	5.10.19	山本会長、「国と地方の協議の場（令和5年度第2回）」に出席 東京・総理大臣官邸において、「国と地方の協議の場（令和5年度第2回）」が開催され、山本徹会長（富山県議会議長）をはじめ、地方六団体の各代表が出席した。 会議においては、「デジタル行財政改革及び地方分権改革の推進」、「こども・子育て政策」及び「マイナンバー総点検」について、関係閣僚と協議した。 山本会長から、①新たな経済対策（経済対策の速やかな策定など）、②中小企業の支援、③こども・子育て政策（全国一律で行う施策の実施に必要な財源の地方負担分も含めた確実な確保）、④主権者教育の推進と議会のデジタル化について発言した。 <政府出席者> 岸田 文雄 内閣総理大臣

No.	年月日	会議の名称及び内容
		松野 博一 内閣官房長官 鈴木 淳司 総務大臣 自見 はなこ 内閣府特命担当大臣（地方創生） 神田 憲次 財務副大臣 武見 敬三 厚生労働大臣 加藤 鮎子 内閣府特命担当大臣（少子化対策） 兼 こども政策担当大臣 河野 太郎 デジタル大臣 兼 デジタル行財政改革担当大臣 兼 デジタル田園都市国家構想担当大臣 兼 行政改革担当大臣
26	5.10.26	第176回定例総会 香川・J Rホテルクレメント高松において開催した。 総会では、はじめに地元香川県の新田耕造議長、山本徹会長（富山県議会議長）のあいさつの後、池田豊人香川県知事、大西秀人高松市長が歓迎のあいさつを述べた。 続いて、岸田文雄内閣総理大臣のメッセージを高山康人愛媛県議会議長が披露、鈴木淳司総務大臣の祝辞を内藤尚志総務事務次官が代読した後、衆参両院議長の祝電を披露した。 次に、自治功労者の表彰に移り、板橋一好栃木県議会議員（在職50年）など在职30年以上の永年勤続功労者7名を表彰し、小倉弘行岡山県議会議長など在职10～25年以上の永年勤続功労者64名を表彰した。 その後、新任正副議長の紹介に続いて、新田香川県議会議長が総会議長を務め、議事に入り、役員会提出の「地域経済の持続的な成長の実現に関する決議」、「少子化対策の抜本的強化に関する決議」、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「デジタル化と地方創生の推進に関する決議」、「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化に関する決議」、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」、「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」を決定するとともに、各委員会

No.	年月日	会議の名称及び内容
		の委員長報告の後、「令和6年度政府予算編成に関する提言」を決定した。 また、明年秋に開催予定の第179回定例総会を北海道東北ブロックの山形県において開催することを決定し、これを受けて、小松伸也山形県議会副議長があいさつを述べた。 そのほか、立石泰広埼玉県議会議長から、議会主催で実施した県内一斉防災訓練「シェイクアウト埼玉」について紹介があった。 以上で総会の議事が終了し、最後に新田香川県議会議長が開催地としての御礼あいさつを述べ、閉会した。
27	5.11.2	各都道府県議会議長、令和5年秋の園遊会に参列 東京・赤坂御苑において、天皇皇后両陛下主催による園遊会が催され、本会からは、議長6名が参列した。なお、園遊会には、岸田文雄内閣総理大臣、地方公共団体代表、各界の功績者など約1,000名が参列した。
28	5.11.6	国土交通委員会、令和6年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請事項> 防災・減災対策、国土強靱化の充実強化、観光の更なる活性化の推進、鉄道の整備促進及び地域鉄道の確保・維持 等 <要請先> (順不同) ・内閣官房 - 松村 祥史 国土強靱化担当大臣 ・自由民主党 - 江島 潔 国土交通部会長代理 - 金子 俊平 国土交通部会副部長 <参加者> - 濱砂 守 委員長 (宮崎県議会議長) - 佐藤 良 副委員長 (栃木県議会議長) - 島田 教明 山口県議会副議長

No.	年月日	会議の名称及び内容
29	5.11.7	社会文教委員会、令和6年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請事項> 少子化対策・子育て支援の抜本的強化、地域医療提供体制の強化、教育の機会均等と水準の維持向上に向けた取組、主権者教育の推進 等 <要請先>（順不同） ・文部科学省 青山 周平 文部科学副大臣 ・厚生労働省 宮崎 政久 厚生労働副大臣 ・こども家庭庁 古賀 友一郎 内閣府大臣政務官 ・自由民主党 井原 巧 文部科学部会長代理 大串 正樹 厚生労働部会長代理 <参加者> - 石田 宗久 委員長（京都府議会議員） - 伊藤 昌弘 副委員長（千葉県議会議員） - 香原 勝司 副委員長（福岡県議会議員）
30	5.11.8	山本会長、自由民主党 予算・税制等に関する政策懇談会に出席 東京・自由民主党本部において、自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会が開催され、山本徹会長（富山県議会議員）をはじめ、地方六団体の各代表が出席した。 会議では、令和6年度予算・税制等について、地方六団体等から要望を行うとともに、関係国会議員との意見交換が行われた。 山本会長から、第176回定例総会における決議に基づき、①地域経済の持続的な成長の実現、②少子化対策の

No.	年月日	会議の名称及び内容
		抜本的強化、③地方税財源の充実確保、④デジタル化と地方創生の推進、⑤防災・減災対策、国土強靱化の充実強化、⑥地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等、⑦東京電力福島第一原子力発電所事故対策などを要請した。 また、総合経済対策における所得税、住民税の減税に伴う地方の歳入減について、地方交付税原資の減少分も含めて全額国費により確実に補填することや、令和6年度税制改正に係る地方税財源の充実確保などについて、併せて要請した。
31	5.11.8	役員会、令和6年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請事項> ・地域経済の持続的な成長の実現 ・少子化対策の抜本的強化 ・地方税財源の充実確保 ・デジタル化と地方創生の推進 ・防災・減災対策、国土強靱化の充実強化 ・地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等 ・東京電力福島第一原子力発電所事故対策 <要請先> (順不同) ・総理大臣官邸 - 松野 博一 内閣官房長官 - 村井 英樹 内閣官房副長官 - 森屋 宏 内閣官房副長官 ・自由民主党 - 萩生田 光一 政務調査会長 ・公明党 - 山口 那津男 代表

No.	年月日	会議の名称及び内容
		山本 博司 総務部会長代理 佐藤 英道 衆議院議員 横山 信一 参議院議員 谷合 正明 参議院議員 新妻 秀規 参議院議員 <参加者> 山本 徹 会長（富山県議会議長） 富原 亮 副会長（北海道議会議長） 丸井 裕 副会長（青森県議会議長） 楡井 辰雄 副会長（新潟県議会議長） 小倉 弘行 副会長（岡山県議会議長） 岡田 理絵 副会長（徳島県議会議長）
32	5.11.8	「多様な人材が輝く議会のための懇談会」を設置 山本徹会長（富山県議会議長）は、女性及び若手の正副議長及び地方自治委員会委員長で女性や若者など多様な人材の議会参画について話し合う「多様な人材が輝く議会のための懇談会」を設置した。 同懇談会は、10月17日（火）開催の役員会後、山本会長が副会長の中森博文三重県議会議長及び岡田理絵徳島県議会議長と女性議員が抱える課題等について意見交換を行ったことを踏まえ、本年7月の創立100周年宣言に基づく女性や若者、勤労者など多様な人材の議会参画に係る取組に生かすことを目的として設置したものである。 <多様な人材が輝く議会のための懇談会委員名簿> 座長 岡田 理絵 副会長（徳島県議会議長） 副座長 石井 邦一 地方自治委員会委員長（茨城県議会議長） 佐藤 良 栃木県議会議長 委員 鈴木 健太 秋田県議会副議長

No.	年月日	会議の名称及び内容
		岡田 静佳 埼玉県議会副議長 杉本 熊野 三重県議会副議長 奥野 詠子 富山県議会副議長 徳安 淳子 兵庫県議会副議長 緒方 直之 広島県議会副議長 佐々木 允 福岡県議会副議長
33	5.11.9	地方自治委員会、令和6年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請事項> 地方税財源の充実強化、多様な人材が議会に参画するための環境整備、総合経済対策に係る補正予算の早期成立、交付税原資の減少を含めた定額減税に伴う地方の歳入減の補填 等 <要請先> （順不同） ・内閣府 自見 はなこ 内閣府特命担当大臣（地方創生） ・自由民主党 葉梨 康弘 税制調査会副会長 ・総務省 内藤 尚志 総務事務次官 <参加者> 石井 邦一 委員長（茨城県議会議長） 弘田 兼一 副委員長（高知県議会議長） 飯澤 匡 岩手県議会副議長 中本 浩精 和歌山県議会副議長

No.	年月日	会議の名称及び内容
34	5.11.13	都道府県議会議員等、地方議会活性化シンポジウム2023に参加 東京・イイノホールにおいて、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で、地方議会活性化シンポジウム2023（主催：総務省、共催：全国都道府県議会議員会、全国市議会議員会、全国町村議会議員会）を開催した。 シンポジウムでは、馬場成志総務副大臣があいさつを行った後、基調講演及びパネルディスカッションが行われた。 パネリストとして、都道府県議会からは、狩野浩志群馬県議会議員が登壇した。 <テーマ> 「将来の地方議会を担うのは誰か？－多様な人材が参画する地方議会の実現－」 <基調講演> 講師：谷口 尚子 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 <パネルディスカッション> コーディネイター：只野 雅人 一橋大学大学院法学研究科教授 パネリスト：鶴川 和彦 北海道栗山町議会議員 狩野 浩志 群馬県議会議員 菅沼 芳徳 静岡県御殿場市議会議員 辻 陽 近畿大学法学部教授 益子 純恵 栃木県那珂川町議会議員
35	5.11.14	第23回都道府県議会議員研究交流大会 東京・都市センターホテルにおいて、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 開会冒頭、山本徹会長（富山県議会議員）が主催者を代表してあいさつを述べた後、基調講演、第1分科会、第2分科会を開催した。 両分科会では、コーディネイター、パネリストと参加する議員との間で意見交換を行った。また、第2分科会では、韓国の大邱大学より、高選圭招聘教授にアドバイザーとして御参加いただき、各パネリストの事例発

No.	年月日	会議の名称及び内容
		表に対してアドバイスを行っていただいた。 なお、今回の大会は創立100周年記念事業として位置付け、7月18日（火）に採択した100周年宣言の内容を大会テーマとした。 <基調講演>「今こそ主権者教育を」 講師：与良 正男 毎日新聞社客員編集委員 <第1分科会>「主権者教育の推進」 地方議会に関する地方自治法改正を踏まえ、将来の地方自治を担うこどもたちの議会に対する関心を高めるとともに理解を深めるため、主権者教育の効果的な取組方策について考える。 コーディネイター：黒崎 洋介 神奈川県立横浜瀬谷高等学校教諭（国立教育政策研究所に在籍出向中） パネリスト：山本 徹 富山県議会議長 池田 慎久 奈良県議会副議長 <第2分科会>「デジタルツールの活用による住民との信頼関係の構築」 デジタル化が進む中で、より住民に開かれた議会を実現するため、デジタルツールを活用した住民へのわかりやすい情報提供や議会と住民との双方向コミュニケーションのあり方を考える。 コーディネイター：河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 アドバイザー：高 選圭 大邱大学招聘教授 パネリスト：金澤 克仁 茨城県取手市議会議長 勘場 永子 株式会社電通 パブリック・アカウント・センター 社会創発室 チーフ・プロデューサー
36	5.11.16	農林水産委員会、令和6年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請事項> 農業の持続可能な成長を実現するための取組の推進について、森林吸収源対策及び林業・木材産業の成長発展に向けての取組、水産資源の安定的な確保及び漁業経営の強化 等 <要請先>（順不同）

No.	年月日	会議の名称及び内容
		・参議院 滝波 宏文 農林水産委員長 ・衆議院 野中 厚 農林水産委員長（秘書対応） ・自由民主党 細田 健一 農林部会長 山下 雄平 水産部会長 ＜参加者＞ - 野島 征夫 副委員長（岐阜県議会議長） - 園山 繁 副委員長（島根県議会議長） - 赤嶺 昇 副委員長（沖縄県議会議長）
37	5.11.22	地方六団体、北朝鮮のミサイル発射に対する抗議文を公表 地方六団体は、北朝鮮によるミサイル発射に対する抗議文を公表した。
38	5.11.22	経済産業環境委員会、令和6年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 ＜要請事項＞ 物価高騰対策の推進、「人への投資」の充実、プラスチックごみの排出抑制、鳥獣被害防止対策の推進 等 ＜要請先＞（順不同） ・総理大臣官邸 岸田 文雄 内閣総理大臣 ・経済産業省 西村 康稔 経済産業大臣 ・環境省 伊藤 信太郎 環境大臣

No.	年月日	会議の名称及び内容
		＜参加者＞ 中本 隆志 委員長（広島県議会議長） 森田 廣 副委員長（山形県議会議長） 西本 正俊 副委員長（福井県議会議長） 北林 丈正 委員（秋田県議会議長） 佐々木 祥二 委員（長野県議会議長） 中森 博文 委員（三重県議会議長）
39	5.12.1	第1回「多様な人材が輝く議会のための懇談会」 東京・全国都市会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で、第1回「多様な人材が輝く議会のための懇談会」を開催した。 懇談会では、山本会長、岡田座長があいさつを述べ、その後は各委員からの意見発表、全体での意見交換を行った。
40	5.12.8	山本会長、地方創生に関する地方六団体との意見交換会に出席 東京・中央合同庁舎8号館において、「地方創生に関する地方六団体との意見交換会」が開催され、山本徹会長（富山県議会議長）をはじめ、地方六団体の各代表が出席した。 会合においては、内閣官房から、令和5年度補正予算及び令和6年度概算要求と税制改正要望、デジタル田園都市国家構想総合戦略について説明の後意見交換が行われた。 山本会長から、①地方大学等によるデジタル人材の育成の取組に対する支援、②東京圏一極集中の是正を図るための地方拠点強化税制の拡充、③高校授業料無償化をめぐり教育の地域間格差が生じないようにすること、④鉄道路線の再構築など地域公共交通ネットワークの維持・確保の取組に対する支援等について要請した。 ＜政府出席者＞ 自見 はなこ 内閣府特命担当大臣（地方創生） 古賀 友一郎 内閣府大臣政務官

No.	年月日	会議の名称及び内容
41	5.12.14	地方六団体、自由民主党 総務部会関係・消防議員連盟合同会議に出席 東京・自由民主党本部において、自由民主党 総務部会関係・消防議員連盟合同会議が開催され、地方六団体が出席し、「令和6年度予算編成及び地方財政対策について」の要請書を提出した。 また、地方六団体を代表して立谷秀清全国市長会会長（福島県相馬市長）が、①地方一般財源総額の確保・充実、②地方財政計画の地方創生推進費やデジタル田園都市国家構想交付金の確保・拡充、③こども・子育て政策に地域間格差が生じないような財政措置などを要請した。
42	5.12.15	山本会長、第33次地方制度調査会第4回総会に出席 東京・全国都市会館において、第33次地方制度調査会第4回総会が開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が委員として出席した。 総会は、松本剛明総務大臣のあいさつの後、「ポストコロナの経済社会に対応する地方制度のあり方に関する答申（案）」について協議し、取りまとめがされた。 山本会長から、①非平時における国の補足的な指示権に関しては、地方に迅速かつ丁寧に情報提供するなど信頼関係の確保につとめていただきたい、②デジタル化は目的を住民や関係機関で共有して進めていくべきであり、国においてはデジタル化された地方自治体の姿を明確に示していただきたい、③地方議会の役割等に関する地方自治法の改正を踏まえ、主権者教育を国民運動として取り組んでいくこととしており、こどもたちの記憶に残るよう熱意をもって取り組む、④多様な人材の地方議会への参画のため、「多様な人材が輝く議会のための懇談会」で議論を進めるなど、更なる議会の活性化を図る旨発言した。
43	5.12.18	丸井副会長、「国と地方の協議の場（令和5年度第3回）」に出席 「国と地方の協議の場（令和5年度第3回）」が、東京・総理大臣官邸で開催され、丸井裕副会長（青森県議会議長）をはじめ、地方六団体の各代表が出席した。 会議においては、「令和6年度予算編成及び地方財政対策」について、関係閣僚と協議した。 丸井副会長から、①地方一般財源総額の確保、②主権者教育の推進、③東京圏一極集中の是正、④多様な人材が地方議会へ参画しやすい環境整備について発言した。

No.	年月日	会議の名称及び内容
		＜政府出席者＞ 岸田 文雄 内閣総理大臣 林 芳正 内閣官房長官 松本 剛明 総務大臣 自見 はなこ 内閣府特命担当大臣（地方創生） 赤澤 亮正 財務副大臣 武見 敬三 厚生労働大臣 斉藤 鉄夫 国土交通大臣 河野 太郎 デジタル大臣 兼 デジタル行財政改革担当大臣 兼 デジタル田園都市国家構想担当大臣 兼 行政改革担当大臣 加藤 鮎子 内閣府特命担当大臣（少子化対策） 兼 こども政策担当大臣
44	5.12.21	三議長会会長、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた主権者教育の推進に関する決議」について松本総務大臣及び盛山文部科学大臣等に要請 山本徹会長（富山県議会議長）など三議長会（本会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会）の会長が、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた主権者教育の推進に関する決議」について、以下のとおり要請活動を実施した ＜要請先＞（順不同） ・総務省 松本 剛明 総務大臣 ・文部科学省 盛山 正仁 文部科学大臣

No.	年月日	会議の名称及び内容
		・自由民主党 - 石田 真敏 総務部会「地方議会の課題に関するPT」座長 - 橘 慶一郎 同幹事長 - あかま 二郎 同事務局長【議員会館事務所に持参】
45	5.12.22	地方六団体、「令和6年度地方財政対策についての共同声明」を発表 地方六団体は、令和6年度地方財政対策が決定されたことを受け、「令和6年度地方財政対策についての共同声明」を発表した。
46	6.1.1	山本会長等3議長、新年祝賀の儀に参列 東京・皇居において、新年祝賀の儀が執り行われ、本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）、楡井辰雄副会長（新潟県議会議長）、大場芳博副会長（佐賀県議会議長）が参列した。 なお、新年祝賀の儀には、岸田文雄内閣総理大臣、衆参両院の議員、地方公共団体代表など約370名が参列した。
47	6.1.24	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議に先立ち、1月1日（月）に発生した令和6年能登半島地震の犠牲者に対し、黙とうをささげた。 会議では、1月26日（金）に開催する第177回定例総会の日程、提出議案等について協議した。 その後、多様な人材が輝く議会のための懇談会、主権者教育の推進、第33次地方制度調査会の最終答申について、事務局から報告した。
48	6.1.26	令和6年1月に発生した令和6年能登半島地震による被害に対する見舞金を贈呈 山本徹会長（富山県議会議長）が、令和6年1月に発生した令和6年能登半島地震で人的被害を受けた石川県への見舞金を、焼田宏明石川県議会議長に贈呈した。

No.	年月日	会議の名称及び内容
49	6.1.26	第177回定例総会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。会議に先立ち、1月1日（月）に発生した令和6年能登半島地震の犠牲者に対し、黙とうをささげた。 総会では、はじめに山本徹会長（富山県議会議長）のあいさつの後、松本剛明総務大臣の代理として出席した馬場成志総務副大臣があいさつを述べた。 次に、新任正副議長を紹介した後、第176回定例総会（令和5年10月26日）の開催地である香川県議会の新田耕造議長が御礼のあいさつを述べた。 その後、議事に入り、「令和6年能登半島地震からの早期復旧・復興に関する決議」を決定するとともに、令和6年度本会予算を決定した。 なお、同決議の決定後、焼田宏明石川県議会議長と楡井辰雄新潟県議会議長から、令和6年能登半島地震による被害に対する各都道府県からの支援への御礼に係る発言があった。 以上で総会の議事が終了し、その後、内藤尚志総務事務次官から、「活力ある多様な地域社会の実現に向けて」と題する講演を聴取した。 最後に、多様な人材が輝く議会のための懇談会、主権者教育の推進、第33次地方制度調査会の最終答申について、事務局から報告し、閉会した。
50	6.1.26	山本会長、第213回国会開会式に出席 東京・国会議事堂において、第213回国会開会式が執り行われ、本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。 なお、開会式には、天皇陛下の御臨席の下、岸田文雄内閣総理大臣、衆参両院議長などが出席した。
51	6.1.26	令和6年能登半島地震からの早期復旧・復興に関する決議の要請活動を実施 正副会長、関係県の議長は、同日の第177回定例総会において決定した令和6年能登半島地震からの早期復旧・復興に関する決議について、以下のとおり要請活動を実施した。 <要請先>（順不同）

No.	年月日	会議の名称及び内容
		・総理大臣官邸 林 芳正 内閣官房長官 ・内閣府 松村 祥史 内閣府特命担当大臣（防災） ・総務省 松本 剛明 総務大臣 ・国土交通省 堂故 茂 国土交通副大臣 ・自由民主党 渡海 紀三朗 政務調査会長 ＜参加者＞ - 山本 徹 会長（富山県議会議長） - 楡井 辰雄 副会長（新潟県議会議長） - 中森 博文 副会長（三重県議会議長） - 焼田 宏明 石川県議会議長 - 西本 正俊 福井県議会議長
52	6.1.26	第2回「多様な人材が輝く議会のための懇談会」 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリッド方式で、第2回「多様な人材が輝く議会のための懇談会」を開催した。 懇談会では、岡田理絵座長（徳島県議会議長）があいさつを述べ、その後は、「第1回懇談会を踏まえ、議会・都道府県議会議長会が行うべき取組等」をテーマに、各委員からの意見発表、全体での意見交換を行った。
53	6.2.7	令和6年北方領土返還要求全国大会を開催 地方六団体は、北方領土返還要求運動連絡協議会及び内閣府との共催により、2月7日（水）の「北方領土

No.	年月日	会議の名称及び内容
		の日」に、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「令和6年北方領土返還要求全国大会」を開催した。 大会では、岸田文雄内閣総理大臣、上川陽子外務大臣、自見はなこ内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）があいさつを行うとともに、元島民の方々等が発言した。 また、最後にアピールを採択した。
54	6.2.22	第3回「多様な人材が輝く議会のための懇談会」 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリッド方式で、第3回「多様な人材が輝く議会のための懇談会」を開催した。 懇談会では、岡田理絵座長（徳島県議会議長）があいさつを述べ、その後は、懇談会としての意見を取りまとめた報告書（案）について意見交換を行い、報告書の取扱いについて岡田座長に一任した。
55	6.3.15	「多様な人材が輝く議会のための17の提言」手交式及び記者会見を開催 東京・都道府県会館において、「多様な人材が輝く議会のための17の提言」の手交式及び記者会見を開催した。 提言について岡田理絵座長（前徳島県議会議長、前副会長）から山本徹会長（富山県議会議長）へ手交した後、記者に発表を行った。なお、手交式及び記者会見には、懇談会の発案者の一人である中森博文副会長（三重県議会議長）も同席した。 <出席者> 山本 徹 会 長（富山県議会議長） 岡田 理絵 多様な人材が輝く議会のための懇談会座長 徳島県議会議員（前副会長・前徳島県議会議長） 中森 博文 副会長（三重県議会議長）

事務局関係

(1) 会議の開催

No.	年月日	会議の名称及び内容
1	令和5.4.13	全国都道府県議会議務局長会 東京・全国都市会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催し、次の講演を聴取するとともに、本会の主要事業等について説明を行った。 <演題及び講師> ○「議会のデジタル化の推進に対する論点整理と実践に向けて」 東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳 氏
2	5.4.20	第211回全国都道府県議会議務局職員研修会（総務・共済、議事新任関係） オンラインで開催した。 なお、講演の演題及び講師は次のとおりである。 <演題及び講師> ○「第33次地方制度調査会答申を踏まえた今後の地方議会のあり方：政策議会の『成果』を考える」 法政大学法学部教授 土山 希美枝 氏 ○「議会の運営について」 元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田 一夫 氏
3	5.5.9	第50回議会運営等問題協議会 オンラインで開催し、議会に係る手続のオンライン化に対応した標準会議規則等の改正について協議した。
4	5.6.15	参与会 オンラインで開催し、6月20日開催の臨時総会の運営等について協議した。
5	5.6.29	社会文教委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第175回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。

No.	年月日	会議の名称及び内容
6	5.6.29	国土交通委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第175回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
7	5.6.29	農林水産委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第175回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
8	5.6.30	地方自治委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第175回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
9	5.6.30	経済産業環境委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第175回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
10	5.7.3	参与会 オンラインで開催し、7月6日開催の役員会の協議事項について協議した。
11	5.8.9	第51回議会運営等問題協議会 オンラインで開催し、議会に係る手続のオンライン化に対応した標準会議規則等の改正について協議した。
12	5.8.25	第212回全国都道府県議会事務局職員研修会（議事事務関係） 対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催し、次の講演を聴取するとともに、本会事務局から議会手続のオンライン化等に係る標準会議規則の改正等について説明を行った後、各都道府県議会提出課題の研究討議を行った。 <演題及び講師> ○「地方自治法の改正を踏まえた今後の地方議会の展望について」 第33次地方制度調査会委員、NPO法人国際CIO学会理事長 岩崎 尚子 氏

No.	年月日	会議の名称及び内容
13	5.9.29	第52回議会運営等問題協議会 オンラインで開催し、議会に係る手続のオンライン化に対応した標準会議規則等の改正案について協議した。改正案については、10月11日の参与会に報告後、同17日の役員会に提出することを決定した。
14	5.10.2	地方自治委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第176回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
15	5.10.2	社会文教委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第176回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
16	5.10.2	農林水産委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第176回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
17	5.10.3	経済産業環境委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第176回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
18	5.10.4	国土交通委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第176回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
19	5.10.11	参与会 オンラインで開催し、10月17日開催の役員会の協議事項について協議した。
20	5.10.30	第213回全国都道府県議会事務局職員研修会（調査事務関係） 東京・都道府県会館において開催した。 なお、講演の演題及び講師等は次のとおりである。

No.	年月日	会議の名称及び内容
		<演題及び講師> ○「都道府県議会の政策づくりのサポート一条例制定を中心に」 中央大学副学長、法学部教授、同大学院法学研究科教授 礒崎 初仁 氏 <事例発表> ○「議員提案条例の制定支援 ～環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例～」 福岡県議会事務局副理事 兼 法務監 安武 弘光 氏 <グループ演習（条例作成について）> 課題：自転車の適正利用促進、受動喫煙防止
21	6.1.17	参与会 オンラインで開催し、1月24日開催の役員会の協議事項について協議した。
22	6.2.27～28	第53回議会運営等問題協議会 オンラインで開催し、住民の傍聴を更に促進等するための標準傍聴規則の見直しについて協議した。 なお、委員の都合を踏まえ、2回に分けて開催した。

(2) ブロック議長会議への出席等

No.	年月日	会議の名称及び内容
1	令和5.5.29	関東甲信越1都9県議会議長会 茨城・ホテルテラスザガーデン水戸で開催され、本会からは青木信之事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。

No.	年月日	会議の名称及び内容
2	5.5.29	四国4県議会正副議長会議 愛媛・道後温泉ふなやで開催され、本会からは下田正幸議事調査部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
3	5.5.30	東海北陸7県議会議長会議 石川・ホテル金沢で開催され、本会からは青木信之事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
4	5.5.31	中国五県議会正副議長会議 広島・リーガロイヤルホテル広島で開催され、本会からは飯山尚人総務部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
5	5.6.1	北海道・東北六県議会議長会議 福島・ホテル福島グリーンパレスで開催され、本会からは青木信之事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
6	5.6.7	九州各県議会議長会議 宮崎・宮崎観光ホテルで開催され、本会からは下田正幸議事調査部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
7	5.7.6	山梨県議会デジタル化推進委員会への説明 都道府県議会デジタル化専門委員会の報告書について、オンラインで下田正幸議事調査部長が説明を行った。
8	5.7.28	13都道府県議会議長会議 大阪・グランドプリンスホテル大阪ベイで開催され、本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る

No.	年月日	会議の名称及び内容
		最近の動向等について説明を行った。
9	5.8.3	四国4県議会正副議長会議 徳島・徳島グランヴィリオホテルで開催され、本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
10	5.8.4	中国五県議会正副議長会議 岡山・ホテルグランヴィア岡山で開催され、本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
11	5.8.7	近畿2府8県議会議長会議 京都・都ホテル京都八条で開催され、本会からは飯山尚人総務部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
12	5.8.8	北海道・東北六県議会事務連絡協議会（議事関係） 青森県議会で開催され、本会からは下田正幸議事調査部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
13	5.8.8	北海道・東北六県議会事務連絡協議会（調査・図書関係） 岩手県議会で開催され、本会からは吉原淳調査部長心得が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
14	5.8.9	北海道・東北六県議会議長会議 宮城・江陽グランドホテルで開催され、本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。

No.	年月日	会議の名称及び内容
15	5.8.21	関東甲信越1都9県議会議長会 山梨・甲府記念日ホテルで開催され、本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
16	5.8.22	中国四国九県議会正副議長会議 鳥取・ANAクラウンプラザホテル米子で開催され、本会からは吉原淳調査部長心得が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
17	5.8.23	九州各県議会議長会議 沖縄・ホテルコレクティブで開催され、本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
18	5.10.2	香川県議会自由民主党香川県政会勉強会 香川県議会棟で開催され、本会から高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
19	5.11.9	13都道府県議会議長会議 広島・リーガロイヤルホテル広島で開催され、本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
20	5.11.15	大分県議会議会運営委員会が来局 地方議会を取り巻く諸課題と議会改革の取組について調査するため本会事務局に来局し、下田正幸議事調査部長が説明を行った。

No.	年月日	会議の名称及び内容
21	5.11.28	長野県議会自由民主党県議団が来局 政務活動費の運用に係る考え方について調査するため本会事務局に来局し、下田正幸議事調査部長が説明を行った。
22	6.1.12	13都道府県議会事務協議会 福岡・博多サンヒルズホテルで開催され、本会からは久保正行議事調査部副部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
23	6.1.29	北海道・東北六県議会議員研究交流大会 宮城・江陽グランドホテルで開催され、本会からは吉原淳調査部長心得が出席した。
24	6.1.29	九州各県議会議員交流セミナー 福岡・ホテル日航福岡で開催され、本会からは飯山尚人総務部長が出席した。